

日本の自然環境が危ない！

身近な外来生物について！！

外来生物とは？

もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって海外から入ってきた生物のことを指します。特に、自然生態系へ悪影響を及ぼす危険があり、外来生物法による規制を受けている動植物を特定外来生物といいます。日本の野外に生息する外来生物の種類は2,000種類を超えるといわれています。

外来生物の悪影響！

在来生物を捕食する、在来生物の餌を奪う、生活環境を奪う等日本固有の生態系への影響が心配されます。

また、一部の外来生物は、人への噛みつきによる怪我や感染症、農作物の食害の原因にもなります。

外来生物被害予防3原則！

- 1 入れない（悪影響を及ぼすかもしれない外来生物をむやみに日本に入れない）
- 2 捨てない（ペットとして飼っている外来生物を自然の中に捨てない）※
- 3 拡げない（自然の中にいる外来生物をほかの地域に拡げない）

※法律により、「特定外来生物」に指定された動物や植物は、生きたままの移動や保管するなどの行為が禁止されています。

また、その他の外来生物についても、移動させたり、増やして放すことは、地域の生態系を壊す原因になります。ペットはもちろん、野生の生き物の取り扱いには、十分に気を付けてください。

袋井市に生息している主な外来生物

特定外来生物・条件付特定外来生物



オオキンケイギク



ウシガエル



ブラックバス(オクチバス・コクチバス)



アメリカザリガニ



ミシシッピアミミガメ

その他の注意が必要な外来生物



スクミリンゴガイ

身近な外来生物について紹介します！

特定外来生物 **オオキンケイギク**



特徴： 北アメリカ原産 キク科の多年生草本
高さは 30～70 cm 程度
路傍、河川敷、線路際、海岸などに生育
開花期は5月～7月

個人で駆除・処分する場合：

- ① 花が咲き始める5月上旬に、オオキンケイギクを抜き取り、袋に詰めて口を縛る。(抜き取った場所で天日にさらし枯死させること)
- ② 収集日に燃えるゴミとして処分する。

スクミリンゴガイ

(通称:ジャンボタニシ)



特徴： 南アメリカ原産
成貝の大きさは5～8cm程度
雑食性(主に植物食)
長い触角あり
ピンク色の卵塊を植物や水路の壁面などに産みつける

防除対策の方法：

● **水路からの進入防止**

取水口と排水口にネットや金網を設置する。

● **貝の防除**

水路の卵塊を水面下に払い落とす。田では、冬期に耕起し、寒さにさらすことで越冬する貝を減らす。

条件付特定外来生物

ミシシッピアカミミガメ (通称：ミドリガメ)



生態： アメリカ合衆国から南アメリカ北西部原産
最大背甲長は雄 20 cm、雌 28 cm (2.5 kg) で在来のニホンイシガメより大型
側頭部に赤い斑がみられ、甲羅に黄色や黒のしま模様が入る
幼体は特に鮮やかな緑色をしていて、販売される際には「ミドリガメ」という通称で呼ばれる

分布状況・生態系への影響：

ペットとして飼育されていたアカミミガメが野外に放たれることなどにより、全都道府県に分布。在来のカメ類と餌や日光浴場所等を巡って競合し、在来のカメ類や水生生物、魚類、両生類、甲殻類等に影響を及ぼしている。

問い合わせ先：

担 当 袋井市役所 環境政策課環境企画係

電 話 0538-44-3135

F A X 0538-44-3185